

平成 25 年度税制改正（租税特別措置）要望事項（新設・拡充・延長）

（厚生労働 省・庁）

制 度 名		年金制度の見直しに伴う所要の措置		
税 目		所得税		
要 望 の 内 容		現在の公的年金制度については、制度創設時の前提や社会経済の状況等が大きく異なってきた結果、「産業構造や労働市場の変化に対応できていない」、「低年金・無年金者が存在している」等の課題が存在している。 これらの課題に対応するため、平成 24 年 2 月 17 日に閣議決定された「社会保障・税一体改革大綱」において、新年金制度の方向性に沿って、現行制度の改善を進めることとされたところである。 これを踏まえ、社会保障審議会年金部会において、年金制度見直しの具体的な内容を検討したところであり、この検討を踏まえ、必要に応じ税制上の所要の措置を講ずる。		
		平年度の減収見込額 （制度自体の減収額）		- 百万円 （ - 百万円）
新 設 ・ 拡 充 又 は 延 長 を 必		(1) 政策目的 現在の公的年金制度について生じている課題に対応するため、年金改革の目指すべき方向性に沿って、現行制度の改善を図る。 (2) 施策の必要性 現在の公的年金制度について生じている課題に対応するため、平成 24 年 2 月 17 日に閣議決定された「社会保障・税一体改革大綱」に基づき、税制上の所要の措置を講ずる必要がある。		
今 回 の 要 望	合 理 性	政 策 体 系 に お け る 政 策 目 的 の 位 置 付 け	Ⅸ 高齢者ができる限り自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりを推進すること 1 老後生活の経済的自立の基礎となる所得保障の充実を図ること 1-1 年金制度改革の道筋をつけ、国民に信頼される持続可能な公的年金制度を構築すること	
		政 策 の 達 成 目 標	（要望の性格上、明示困難）	

		租税特別措置の適用又は延長期間	恒久措置
		同上の期間中の達成目標	地域で安心して健康に長寿を迎えられる社会を実現する。
		政策目標の達成状況	(要望の性格上、明示困難)
	有効性	要望の措置の適用見込み	(要望の性格上、明示困難)
		要望の措置の効果見込み(手段としての有効性)	(要望の性格上、明示困難)
	相当性	当該要望項目以外の税制上の支援措置	地方税について、同様の要望を提出している。
		予算上の措置等の要求内容及び金額	(該当なし)
		上記の予算上の措置等と要望項目との関係	(該当なし)
		要望の措置の妥当性	(要望の性格上、明示困難)
	これまでの租税特別措置の適用実績と効果に関連する事項	租税特別措置の適用実績	(措置の性格上、明示困難)
		租税特別措置の適用による効果(手段としての有効性)	(措置の性格上、明示困難)

	前回要望時の達成目標	—
	前回要望時からの達成度及び目標に達していない場合の理由	—
これまでの要望経緯		(該当なし)